

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 岡山スイキュウ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0944 岡山市南区泉田371-1	
本票作成	部署名： 管理本部				
主たる業種	分類コード	44	業種名： 道路貨物運送業		
事業の概要	岡山県内の4営業所に200台程度の車両を置き、運送業を行っている。 従業員数は、約320名。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	倉富物流センター		岡山市中区倉富367-4	
	②	瀬戸内物流センター		瀬戸内市長船町土師168-1	
	③	泉田営業所		岡山市南区泉田371-1	
	④				
	⑤	早島物流センター		都窪郡早島町矢尾812-6	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 200 台)				

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.3 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 24 年度)			目標年度 (平成 29 年度)					
	10,413 t CO ₂			10,800 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 24 年度) の排出量					
	①	倉富物流センター		4,691 t CO ₂					
	②	瀬戸内物流センター		4,030 t CO ₂					
	③	泉田営業所		1,388 t CO ₂					
	④								
	⑤	早島物流センター		304 t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 売上	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		213.000 t CO ₂ / (億円)	206.000 t CO ₂ / (億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 24 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

<p>車両燃費向上のため、エコ運転を実施。 ゴミの分別仕分けや5S運動を通じて環境問題に取り組む。 倉庫の防熱や冷凍設備を補修し、エネルギー使用量を削減する。</p>

【目標削減率達成のための推進体制】

営業所に推進責任者を置き、継続的な改善活動を行う。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全営業所	エコタイヤ交換 トラック協会主催の省エネ運転講習会に出席 デジタル式タコグラフ・ドライブレコーダーによる個別指導 走行キロ数よりエンジンオイルやエレメント類を適切に交換 タイヤ空気圧を毎月確認し、適切な空気圧を管理 乗務員個々が月間燃費目標を設定し、運行毎に燃費を計算 ドライブレコーダーの追加導入
倉富物流センター	老朽化したドックシェルターを修理し、冷気の漏れを防いだ 防熱扉の開閉を少なくした。細かな温度管理を行った。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全営業所	新型デジタル式タコグラフを順次導入し、 運行途中のリアルタイムな指導を行う。 旧冷蔵庫を補修し密封性を強化。照明をLEDにかえる。 エコタイヤに随時交換し、燃費向上に努める。 低燃費車を購入。 防熱や冷凍機器により熱効率を高め、使用電気量を削減する。
倉富物流センター	昨年と同様の取り組みを行う。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

大福営業所は平成27年8月より都窪郡早島町へ移転し、早島物流センターとして稼動。